

6	主 題：「誰もが安心して暮らせる心暖かい町づくり」	
	副 題：～ 一人はみんなのために みんなは一人のために ～	
部 門： <input type="checkbox"/> 施設 <input type="checkbox"/> 在宅 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア <input type="checkbox"/> 市民活動		
事業所種別・名称	南町田福祉ネットワーク	
発表者：中村 勝美	アドバイザー：佐々木 敏雄	
共同者：三並 愛司		
電 話：042-796-1521	e-mail：	
FAX：042-796-1522	URL：	
今回の発表の事業所 やサービスの紹介	<p>【所在地】〒194-0005 東京都町田市南町田 4-10-38（事務局）</p> <p>【施設概要・サービス】</p> <p>社会福祉法人南町田ちいろば会は町田市南部、東急田園都市線南町田グランベリーパーク駅、徒歩約 12 分境川沿いに位置する総合福祉施設です。今回は地区社会福祉協議会として地域の包括支援を担っている南町田福祉ネットワークの活動を発足 10 年目の区切りもあり、事務局として実践・研究発表させていただきます。</p>	

<p>《1. 研究前の状況と課題》</p> <p>約 10 年以上前に地域包括ケアシステムの具体的構築が必須と言われた中、町田市でも孤立死・孤独死の事例があった。南町田自治会では当時の会長より「我々の住むこの地域からは絶対に孤立死・孤独死は出さない。そのための地域包括ケアシステムを構築する。」この使命・思いが南町田福祉ネットワークの立ち上げにつながった。これが「誰もが安心して暮らせる心暖かい町づくり」を事業理念・コンセプトとし、～ 一人はみんなのために、みんなは一人のために ～の基本方針を現在も引き継がれている。</p> <p>《2. 研究の目標と期待する成果・目的》</p> <p>設立当初にまず、着手したことはこの地域の住民、約 700 世帯全戸の「高齢者見守り支援活動」のアンケート調査からスタートした。これにより現在、困っていることはもちろん、様々な地域課題が明確化した。</p> <p>《3. 具体的な取り組みの内容》</p> <p>1. 地区社会福祉協議会 発足 地区社会福祉協議会設立準備（H. 24 年）</p> <p>① 平成 26 年 5 月 11 日 第 1 回「定期総会」開催</p> <p>② 平成 26 年 6 月 29 日 第 1 回「住民説明会」開催</p>	<p>《4. 取り組みの結果と考察》</p> <p>I 高齢者見守り支援事業</p> <p>II 相互扶助事業</p> <p>・「ちょこっとお手伝い」「移送支援サービス」</p> <p>III 住民交流促進事業</p> <p>・「ちょこっとカフェ/講演会/他」</p> <p>IV 関係機関（団体）との連携（22 団体）</p> <p>【地域住民からの声（意向）】</p> <p>今後も楽しみなカフェや為になる講演会を継続していただきたい。このような場から友人ができて、買い物やお茶をする仲間ができたことは良かったなどの声を頂いてる。</p> <p>《5. まとめ、結論》</p> <p>10 年間の活動の中、実践を踏まえて当会（私）が感じることは地域包括ケアの中核はあくまで地域住民であり、ボランティア精神をもって組織化された地域活動団体であることが重要だと考えます。このような地域包括ケアを担う地域住民活動団体が市内中へ広がっていくことを期待しています。</p> <p>《6. 倫理的配慮に関する事項》</p> <p>なお、本研究発表を行うにあたり、個人情報に関わる発表はなし。各団体名等に関しては同意済みである。</p> <p>《7. 参考文献》</p> <p>引用文献や参考文献は使用なし。</p>
--	---